

第 433 号



広報 あくね

阿久根市の人口
住民基本台帳人口と世帯数

(2月1日現在)	
人口	30,052 (+10)
男	14,002 (+6)
女	16,050 (+4)
世帯数	9,675 (+8)



「あんちゃんたのんど」
寒風ついて各地で駅伝

にぎわう中継点……西目校区駅伝大会

一月から二月にかけて、市内の各地区では駅伝大会がにぎやかに行われ、子どもから大人まで仲良く参加して、体力づくりに汗を流しました。

高校生駅伝、親子駅伝、PTA駅伝、名前もいろいろ……。

誰れでも気軽に参加できるように距離は短くしてありますが、普段走ることには縁のない大人たち、特に、腹の出っぱった方にはきついと見えて息を弾ませ「フッ、フッ、パタン」、あいた、てそかった、その反対に子どもたちは元氣いっぱい、風を切って走っていました。

どの駅伝も応援がすこく、沿道は市民の応援「ソレ、キハレ」走る選手に激励の声援。選手もこれに「たえ一生懸命頑張りました。」

体力づくり、地域づくりに貴重な駅伝大会ですね。

2月号

市長に川畑強氏

大差で再選果たす

二月一日の任期切れを迎えた阿久根市長選挙は、一月十三日告示、二十三日投票が行われ、現職で二期目を目指す川畑強氏(六三)が大差で対立候補の桜井鶴男氏(六〇)を破り当選しました。

今回の市長選挙には、現職で保守系無所属の川畑強氏と共産党の桜井鶴男氏の二人が立候補、阿久根市長選挙初めての保守、革新の対決となりました。

投票は二十三日、市内二十一の投票所で、午前七時から午後六時まで(単人小、本之牟礼分館、田代小では午後五時まで投票)実施され、市民が絶えぬかけ投票を

行っていました。投票に続き、市民会館では午後八時から即日開票が行われ、川畑強氏が一万三千四十七票を獲得、桜井鶴男氏に約一万七票の差をつけて、当選、再選を果たしました。投票率七一・五五%。当日の有権者は二万一千七百九十五人(男九千七百五十人、女一万二千四百五人)でした。

市長就任のあいさつ

阿久根市長 川畑 強



昨今の社会情勢を考えると、国政においても行政の改革、財政の再建等、私たちの生活に著しい影響を及ぼすような困難な問題が山積する中で、市政の執行に当たっても、容易ならざるものがある事を痛感いたしますと共に、その責任の重大さに改めて身の引きしまる思いがいたしております。

私は過去四年間、市政を担当させていただき皆様方との温い心のふれ合を求め、その中から多くの尊い体験を得ることができました。

この体験をもとにして、私は私なりに市政の進むべき方向を見出すことが出来たところで、これから更に四年間皆様方のご理解をいただきながら、ふるさと阿久根の浮揚発展を願い、初心を忘

れる事なく、誠心誠意努力を続けて参りたいと、新たな決意を致しております。

阿久根市が当面する問題として、人口の増加、市民獲得の増大という二つの大きな課題に向って産業の振興を始め、交通網の整備、教育、文化の振興等、市民福祉の向上をめざし公約いたしました事項の達成のため常に市民の皆様方との対話を通じ心のふれ合とコンセンサスを求めながら、御身の努力を続けて参る覚悟であります。

具体的には二十一世紀に向っての阿久根市の進むべき指針として昨午市議会の同意を得て策定いたしました、新阿久根市総合開発計画に沿って「陸と海の調和のとれた活力のある阿久根市」実現のた

め計画に盛り込まれました施策の一つ一つを著実に実施して参ります。

もとより市政は市民のものであり、全市民の総力が結集される事によって、はじめて本市がめざす理想都市の建設が可能であります。今こそ三万市民の皆様が心を一つにしてお互いの知恵を出し合い、しっかり手を取り合ってふるさと阿久根市が真に北薩の中核都市として発展するため勇敢に立ち向って行かなければならない時であると存じます。

私はその先頭に立って、あらゆる施策の推進に積極的に勇断をもって対処し市民の皆様への負託に堪へて参る決意でございます。何卒市政に対する一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。第九代阿久根市長就任に当りごあいさつといたします。

たいへん寒い日が続いておりますが、市民の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたびの市長選挙におきまして、皆様方の温い励ましと、心からのご支援をいただき、当選の栄に浴し再び市政を担う榮譽を与えていただきましたこと、誠に感激の極みに存じております。

九千七百五十人、女一万二千四百五人)でした。

最終得票数は次のとおりです。川畑 強氏 一三、〇四七票 桜井鶴男氏 二、三三〇票 (投票総数 一五、五九四、無効二一六、不受理一)

川畑市長の公約

「陸と海の調和のとれた活力のある阿久根をつくる」ことを市政運営の基本理念とし、一期四年間の実績を踏まえ、人口増対策と市民の所得向上を二本の柱として、阿久根市の飛躍発展のため、諸施策を積極的に推進し、勇断をもって実施します。

一 農林水産業をはじめ、商工業など地場産業の育成、振興策の推進。

一 市民の総力を結集して企業誘致に努力し、就業機会の拡大を図る。

一 快適な市民生活の環境づくりのため、道路網の整備、公園、排水路等の建設促進。

一 心のふれあいを大切に老人、母子、身障者等に温い手をさしのべ、自立のための援助など福祉施策の充実を図る。

一 生涯教育を目標として、学校教育、社会教育、社会体育の振興及び教育文化施設の整備充実。

一 南九州西回り自動車道の建設、空港への道路整備及び野母崎カーフェリー就航の実現を積極的に推進する。

一 国、県との密接な連携のいもとに財源の確保につとめ、公正な人事管理を行い、行政サービス向上を図る。

土地を見なおし 積極的に基盤整備を

市内 永田上



新留秀雄さん(36)

八十三年は、私共農業に対して、果樹、畜産、雑草の自由化、関税の引き下げ等、いろんな面でたいへん厳しい情勢になっていくと思われまます。阿久根市においても直接

沿岸地域に 漁場づくりを

市内 浜



岩切卓哉さん(54)

東シナ海を望む阿久根は、有数の沿岸漁業のまちで、流通基地として県内外の船が出入りし、にぎわいをみせています。

漁業の振興、発展にはまず、基盤整備が重要且つ、先決でありま

影響をあたえるものばかりで、生産団体、あらゆる組織が一致団結し、この問題に取りくまなければならぬと思います。

私共農家としても、今までは質より量という考え方ができたと思われまます。これからは量より質、消費者に好まれ農産物を生産していく必要があると感う。市としても農業の基盤である土地を見直し、積極的に基盤整備を進め、果樹、畜産、野菜等の阿久根名産を愛いていかれる事を期待します。

川畑市政にのぞむ

第九代の阿久根市長に再選された川畑市長は、「人口増対策と市民の所得向上を柱に、陸と海の調和のとれた活力ある阿久根をつくる」ことを目標に今後の市政を推進してまいります。二期目の川畑市政に望む市民の声を聞きました。

商店街振興の切札に 観光面の充実を

市内 本町



小園康二さん(34)

市勢発展、商店街振興には、大企業誘致による人口増加が根本的

な施策であることは、衆目の一致するところでありまますが一朝夕にはいかならないと思う。計画的遂行を試みながら、季節的流動人口の増加の推進を図るべきである。観光立市を打ちだしているが、カーフェリー問題、附帯娯楽施設建設問題、空港への道路整備、九州新幹線の早期着工推進、旧態然とした阿久根大島問題、建前満々の町など、これひとつとついても進展が見られない現状であり、観光開発への施策の見直しが必要である。観光開発を強力に推進していただきたい。

子どもたちが安心して遊べる遊園地、運動公園を

市内 牧内



牧内節子さん(29)

子どもたちが安心して遊べる遊園地、運動公園を。まず、確実に公約の実現に向けて進んでいただきたい。厳しい社会状況の中で、企業誘致等難しいことですが、一つでも多く、地元で働ける職場ができれば、雇用の促進が図られることを望みます。

二期目の市政にたすさわられ、市民の期待も一段と大きいと思

また、地域漁民の生活の安定、向上の実現のため、沿岸地域に魚場造成を系統的に実施するとともに、将来は栽培漁業、観光漁業の開発についても政策の中で実現してもらいたい。

勤労婦人センター、海洋センター等の施設も充実してきていますが、今後は、子どもたちが安心して、のびのびと走り、遊べる遊園地、運動公園等の施設も早期にほしいと思います。

転作目標は百二ヘクタール 集落割りあてを基本に実施



阿久根市農政の推進について企画、調整する農政推進会議が一月二十九日市役所の会議室で行われ、市、農協、それに農業関係者二十一人が出席、転作目標などを審議しました。

五十七年度より四割少ない百二十四ヘクタールが主なものでした。昭和五十八年度の転作目標は、

五十七年度より四割少ない百二十四ヘクタールにあたっては集落割りあてを基本に市をはじめ関係機関が一体となって目標達成に取り組みたいとしています。

推進会議では、まず、五十七年度の水田利用再編対策(米の減反など)の実施状況報告がありました。報告によると、阿久根市に示された転作等の目標面積は百二十一ヘクタール、

五十七年度より四割少ない百二十四ヘクタールにあたっては集落割りあてを基本に市をはじめ関係機関が一体となって目標達成に取り組みたいとしています。

米の減反などを審議した農政推進会議

これに伴う転作奨励金四千四百五十万円が支給されました。転作物物では、大豆、麦類の特定作物が三十二ヘクタール、野菜、豆類の一般作物が二十八ヘクタール、安全管理四



このほか、推進会議では阿久根市の農業振興地域整備計画の一部変更も報告され、これによって昭和五十七年十二月末現在の農用地

は、田四百八十四ヘクタール、畑千三百十六ヘクタール、樹林地八百九十三ヘクタール、農用地十五ヘクタール、合計二千五百三十九ヘクタールとなりました。

交通専門指導員に

西田さん(高之口区)

阿久根市交通安全専門指導員に市内高之口区の西田一治さん(五十五歳)が委嘱されました。

西田さんは、昭和五十二年陸上自衛隊を退職、五十六年には区の区長もされました。

これまで三十四年間無事故無違反という模範ドライバー。一月一日付をもって指導員に委嘱されました。西田さんは「交通安全などをとおし、悲惨な交通事故を市内から少なくするよう頑張ります。」と抱負を述べてくださいました。

二十七日(日) 午前九時

○試験場所 阿久根市民会館

○試験内容 一般教養、漢性、専門、作文、体力(消防職だけ)

○二次試験 一次合格者について行う。

○受験申し込み

昭和三十八年三月十七日午後五時まで、郵送の場合十七日の消印

がなければ有効。

▽提出するもの

○履歴書(市に備え付けのもの)

○卒業証明書又は卒業見込み証明書と成績証明書

○写真(最近写したものの縦四センチ、横三センチ、写真二通のほかに各一通。その他試験について詳しくは市役所秘書課職員係へ)

誕生

おめでどう



出生児 保護者 区名

島中 美幸 光徳(遠矢)

沼田 直哉 弘志(山馬場)

宮路 崇世 厚成(内田)

牛之浜由美 勇(遠見ヶ岡)

清水 肇 恒(新町)

池田 博美 裕(高之口)

西村 直樹 光則(波留)

和田勝寿美 兼一(倉津)

黒崎 奈々 義久(中村)

倉津 和也 和富(倉津)

松田 数代 澄雄(段)

西上床 尚 信(段)

馬見塚 薫 文夫(大丸)

黒藤 公介 和典(寺山)

川畑 敏明 力雄(新町)

福田 奈緒 恵一(高之口)

的場 梓 恭二(中屋敷)

宇都 陽介 憲法(高松)

中野 佑樹 彰(高之口)

倉津 誠治 秀一(湯)

中村 直子 忍(段)

尻無 友康 歳久(尻無中)

波留 和法 修一(大丸)

川畑 大志 光志(的場)

後藤 美香 美敏(中村)

二石重沙美 力(新町)

野崎健一郎 繁利(馬場)

川俣 歩 政広(上原)

尻無 裕美 良輝(尻無中)

市職員採用試験の案内

▽採用職種 一般事務職、畜産、林業技術職、土木技術職、消防職

▽採用人員 各職種とも若干名

▽受験資格

○昭和三十三年四月二日以降に生れた高等学校卒業(昭和五十八年

三月卒業見込みを含む)程度の学力を有する者。

○市内に本人又は、父母が住所を有する者。

▽試験日

○一次試験 昭和三十八年三月



商店街づくりが始まる旧市役所跡地

新しい市役所が現在地に
移転してから四年三ヶ月が
経過しました。
旧庁舎跡地の商店街構想
が注目されていましたが、
このほど二区画に共同によ
るショッピングセンターの
設立が具体化し、五月中に
は工事に着手、十一月のオ
ープンを目指して事業が進
められ、本格的に商店街づ
くりが動き始めました。

商店街づくり始まる

旧市役所跡地

十二月にショッピングセンターオープン予定

共同店舗として発足するのは
「協同組合 阿久根ショッピング
センター」一月二十一日、設立す
るための創立総会を開き、店舗の
名称や、事業計画、定款などを定め、
五月中にも店舗の工事に取っかか
り、十一月のオープンを目指すこ
とにしています。

旧庁舎跡地は、国道三号から西
へ約二百メートル、大丸商店街や飲
食店街の中心に位置し、敷地面積
六千五百二十四平方メートル。

市では、この跡地を有効に活用
するため農協、漁協、商工、観光
などの関係者十五人で新地対策協
議会を組織。協議を重ねた結果、
地元の企業の育成を図ることから
商業用地として活用することが望
ましいと市に答申が出され、市で
もこの答申にそって商業用地とし
ての利用方について協議、個人店
舗十四区画、金融機関二区画、共
同店舗一区画に分割。すべて売却
しました。

共同店舗が入るのはこの一区画
で、敷地は駐車場を含め二千二百
八十平方メートル。ここに鉄骨造り一部
三階建て三千七百七十八平方メートルの共
同店舗を総工事費約六億八千万円
でつくろうというものです。

固定資産

課税台帳の縦覧を
3月1日から20日まで

昭和58年度の固定資産
課税台帳の縦覧を3月1
日(火)から20日(申)まで、土
曜日の午後と日曜日を除
き、市役所税務課で実施
します。

この機会に、自分の固
定資産税がどのようにし
て課税されてくるのか確
かめておかれるようおす
めします。

また、本人以外の台帳
を縦覧される方は、同意
書が必要です。(必ず印
かんをご持参ください)

なお、他の市町に固定
資産をお持ちの方は、各
々の市町で縦覧できます。

共同店舗は一階を大手スーパ一

大手スーパーと
地元店で共同



ショッピングセンターの設立総会

タイヨーと個人店が店を出し、二
階を市内の業者が、三階は事務室
などとする計画で、地元企業と大
手スーパーが共同で店舗をつくる
のは県内でもめずらしいケースと
して注目されています。またコン
ピューターを導入して購入から売
上げまでを集中管理し、経営事務
の効率化と経営の指導などもたや
すくなるなど、工夫がなされてい
ます。

十四区画の個人店舗についても
十二店舗が協議し、十一月の開店
を目標に建築を始めます。また商
店街をアーケードやカラー舗装に
するプランもあります。

いよいよ本格的に始まった商店
街づくり、阿久根市の商業の発展
を大きく左右するだけに市民の期
待が集まっています。

消防ミニニュース

一月分
一月の火災発生数 0
救急車出動回数 52

進 行 中 の 市 堂

式 初 出 消 防

高松川では放水

新春恒例の消防出初め式は、一月六日市役所南側広場に、消防署をはじめ市内の二十一分団から消防自動車五台、積込車二十台、小型ポンプ二十二台、団員三百三十三人。それに川畑中自衛消防隊、阿久根小学校少年、幼年消防クラブ



分列式で堂々と行進する分団員

が参加して行われ、高松川川岸では分団による放水演習も行われ、冬空にあがる水のアーチに市民の歓声があがっていました。

出初め式では川畑市長、新戸助役らが各団の機械器具、服装の点検のあと、中央分団、大川分団の通常点検、桑原城分団などのポンプ操法が披露されました。

表彰式では優良分団、永年勤続者など団体五、個人七十五人を表彰しました。

式典のあとは市民会館前、国道三号、駅前、新町通りのコースで堂々の市進行進。本町通りでは分列式が行われ、キビキビした団員の動作に沿道の市民からさかんな拍手が送られていました。

川畑さんらを

消防庁長官表彰

消防庁長官表彰伝達

▽退職報償銀杯伝達者

川畑武利 柳良春 仁礼一男

八郷一寅 餅越深志 石原千代年

若松成人 浅野勝康 八郷等 山

平正治 中野淳 竹原史雄 倉田

国利 石原利光

日本消防協会表彰伝達

▽勤続章 船元謙一

▽精進章 池田豊 船元謙一

県消防協会表彰伝達

▽勤続章 船元謙一

▽功績章勤続章 橋房昭 中野淳

石原千代年 尾塚仁

▽精進章 仲村清次 大田弘治

神田学 若松成人 浅野勝康 竹

原史雄

県知事表彰伝達

▽十年勤続章 牛之浜一男 柚元

敏明 宮内清一 角秀吉 奥平武人 今村一郎 白肌守 東廉和明

知識啓蒙 松崎豊喜 小村光広

八郷政憲 八郷英敏

県消防協会出水支部長表彰

▽優良団員 奥平勝美 奥平武人

白肌守 小村光広 東廉和明 山

口隆夫 有田勇夫 國田常男 上

野義和 知識啓蒙

▽永年勤続章(十五年) 田上日

男 松下直美 弓木野勝美 宮田

嘉和

市長表彰

▽優良分団 桑原城 折口 大川

多田 山下の各分団

▽幹部退団者感謝状 川畑武利

柳良春 石原千代年 竹原史雄

▽現場協力者感謝状(一般協力)

岩崎益男

▽現場功労者賞詞 仲村清次

団長表彰

▽十年勤続 牛之浜一男 山口幸

春 白浜美智治 恒吉年治 折橋

利美 若松好房 末古高 西園春夫 瀧辺豊治

軽自動車税の申告、報告は期限内に

報告は期限内に

税務課からのお知らせ

原動機付自転車及び、小型特殊自動車等(車検を必要としない車)を購入された人(転入、転出も含む)は十五日以内に税務課に届出するようにしています。

申告書には、所有者等の住所、氏名、車名、形状などを記載してもらいます。また、届出の際は印章と本人を確認できる書類(免許証、保険証など)を持参ください。

東園さん(西目小)

池脇さん(鶴中)に

市長賞

五十七年度読書感想文コンクール

市長賞 東園登志子(西目小)

池脇重成(鶴川内中)

議長賞 太田希世(阿久根小)

大下和子(鶴川内中)

教育長賞 小村晴美(脇本小)

大田哲子(大川中)

図書館長賞 花立真希(阿久根小)

伊賀 まつぞのめぐみ(阿久根小)

南日本新聞社賞 ながたとしみ

つ(鶴川内小)

特選 はりまりえ(脇本小)に

558人が大人に

いぜん晴れ着の多い成人式

二十歳になった若者を祝う成人式が、一月五日市民会館で行われ、四百二十三人が晴れて大人の仲間入りをしました。

成人式には市内での該当者五百五十八人のうち、男子二百七人、女子二百六人が出席しました。式典では、川畑市長が「新しく成人を迎えられた皆さんおめでとう。国際的にも国内的にも厳しい世の中ではありますが、胸をはって『ふるさと阿久根だ』と言う誇

りと自覚を持ち、自分の目標に向かって積極的に飛躍して欲しい」と祝福。新成人を代表して波留区の中国ひとみさんが「これまで私たちを育ててくれた両親に感謝し、これから一人の大人として自分の言動に責任を持って、明日のために今日を精一ばい生きたい」と感想を述べました。

平服、自由が71人 晴れ着は27人

成人者へアンケート

成人者アンケート

○ 回答者

男	女	計
35人	63人	98人

○ 成人式の期日は

	男	女	計
1月5日	27人	50人	77人
1月15日	5	8	13
1月1日	2		2
1月3日	1	4	5
8月		1	1

○ 女性の晴れ着について

	男	女	計
晴れ着がよい	10人	17人	27人
平服がよい	8	22	30
自由でよい	17	24	41

雰囲気につつまれていました。今回成人式に参加した女子のほとんどが着物で、平服による参加者は数えるだけ。簡素化運動を進



晴れ着がほとんど成人式

社会教育課では、今回成人式に参加した成人者の皆さんに、晴れ着についてどうか。などのアンケート調査を実施。九十八人が回答しました。このうち成人式の期日についてはほとんどの成人者が十五日以内を希望していることが分かりました。また、女性の晴れ着については、晴れ着がよい二十七人、平服、自由が七十一人と、若者も平服、自由を望んでいることが分かりました。

めている社会教育課では「平服の参加者が多いと思っていました。もう少し協力してほしい」と晴れ着の成人式に少々がっかり。

暮らしの相談コーナー

相談内容	機関名	電話番号
消費生活	県消費生活センター	(0992)26-6717
	県大島消費生活相談所	(09975)2-0999
物価問題	県庁県民生活ダイヤル	(0992)25-4783
	県中央児童相談所	(0992)68-4141
児童問題	県大島児童相談所	(09975)3-6070
	県婦人相談所	(0992)22-1467
婦人相談	県婦人就業援助センター	(0992)26-7218
内職相談	県社会福祉協議会	(0992)57-5700
福祉相談		

いどめつよし(折多小) 太田ゆう(阿久根小) おとすのぞみ(西目小) 前田善亮(脇本小) 西よし子(阿) ふじかわしげき(集人小) くらかみひろき(阿久根小) 小野和美(阿久根小) 花木友美(大川小) 佐藤洋一郎(鶴川内小) 山口隆二(田代小) 黒屋あさみ(阿久根小) 有馬哲哉(山下小) 春田文代(大川小) 深田由香利(折多小) 中面ゆかり(折多小) 川井由紀子、福留主(脇本小) 木場秀隆(阿久根小) 檀田洋美(阿久根小) 榎本浩行、花岡泉(脇本小) 山下博子(山下小) 末吉真由美(鶴川内小) 宇都謙吾、寺地千恵、大田文代(大川中) 竹原佳子(集人中) 藤原美保(三笠中) 入選 しんまちいく子(阿久根小) はか七十七人でした。

五十八年度 教育モニター募集

政府の文教施策について、広く一般国民から批判、意見、要望などを聞き、文行政の参考とします。

募集人員 五百人
任期 二年

モニター募集について詳しく

住宅金融公庫の申し込み

今月の25日までです
マイホーム建設と建売住宅購入資金にどしどしご利用を
詳しくは公庫業務取り扱い金融機関か市の建築係へ。

調順はまず 簡素化から

引き出物もなくスツキリ(結婚式) 市民の盛りあがり期待



簡素化結婚式が始まった中央公民館

新生活改善運動(冠婚葬祭他)に取り組んでい

る阿久根市で、一月一日

から中央公民館(市民会

館、大川、藤本の両地区

公民館での結婚式、披露

宴が、市が決めた金額に

より実施していただく、

いわば簡素化結婚式がス

タート。すでに幾組かの

結婚式が行われましたが

引出物もなく、関係者か

らはムダが省けてすつき

りすると喜ばれ、まずは

簡素な簡素化が始まりま

した。

新生活運動の簡素化運

動については市の教育委

員会社会教育課が十数年

前から取り組んでいます

が、市民の協力の盛りあ

がりにいま一つ欠け運動

が進んでいないのが現状でした。

昨年四月、社会教育課が市民会

館に移転、ここを中央公民館とし

て位置づけたのを機会に、公民館

としての役割りを果たす意味から

も金額を定めた簡素化の実施を行

うべきであるとし、教育委員や白

治公民館長会、市当局などと何回

となく協議を重ね、十月に婦人会

や青年団に実施したアンケートや、

近隣市町の実態なども調査し、中

央公民館などを利用する際の婚礼

の費用などを決めました。

また、市内で個人的に行う開店

祝、進水祝、上棟祝などについて

も一定の金額を決め、チラシ等を

通して市民の協力を呼びかけてい

ます。

公民館結婚式など披露宴の金額

については形にとられることな

くムダを省き、簡素ななかにあっ

ても心豊かに二人の前途を祝して、

料理が五千円以内(酒類、ジュース、菓子等含む)、お祝金六千円以内(本人への記念品代も含む) 聖結料・お色直し(二回程度)十三万円、写真代八万円以内、引出物やお返しは原則として認めない。

時間は三時間以内とする。この

公民館結婚式、披露宴の対象とな

るのは中央公民館、藤本、大川地

区公民館となっています。

簡素化結婚式

一号は榎田さん(八郷)

—中央公民館—

一月五日、中央公民館で簡素化

結婚式の一号が行われました。

結婚式を行ったのは市内八郷の

海運業、榎田一明さん(三三)と和子

さん夫婦。(写真上)

披露宴の料理、髪染い料、お色

直しも公民館の決めた金額で、引

き出物も勿論ありませんでした。

榎田さんは「ムダを省いた簡素

な結婚式が出来、二人の良き思い

出になります。」と喜んでいまし

た。

ご冥福を お祈りします

川原シヅノ 77(高松) 盛

入尾野ハル 79(柘) 肇

餅城 清 81(弓木野) ツタエ

小田 栄助 74(牟田) スズキ

倉田 国治 65(淵) サカエ

内山ユキエ 70(淵) 猷

松永ミサヲ 80(牛之浜) 廣 吉

中村矢右衛門 96(仲仁田) チエ子

川原 市蔵 87(波備) 菊 枝

砂畑 寛 68(新町) ヨシエ

岩崎 キヨ 91(志平) セギキチ

稲富 フサ 82(新町) 正

柿元 ノリ 88(上野) 康 郎

牛浜 ユキ 90(牛之浜) 盛 雄

新町シツエ 73(新町) 進

山口シゲノ 82(新町) 義 秋

寺地キヨノ 80(尻無下) 学

川畑 春見 75(的場) シツミ

寺園 十吉 82(内田) フデ

藤園 太市 72(尻無中) コミツ

斎藤 次夫 66(淵) 泰 之

若松 ミセ 80(尻無中) 幸 市

奥平 マセ 89(高松) 賢 治

牛之浜佐市 62(牛之浜) スエノ

木浦興三郎 83(大丸) 一 男

吉田 花一 65(桐野下) タマエ

松元重次郎 72(脇馬場) ノブ

宮崎 キミ 83(下村) 眞 穂 子

園田 政義 77(古里) シズエ

働く婦人の家まつり

講演や発表会などあります



働く婦人の家へ、開館一年間の活動成果を発表する場として、三月十二日・十三日の二日間、婦人の家まつりを開催します。おさそいあわせのうえ、お気概におこしくください。



にぎわう働く婦人の家

内容

○講演会 三月十二日出

午後二時～四時

『これからの女性の生き方』
数根博子氏（鹿児島市勤労婦人センター所長）

○発表会 三月十三日出

午後一時三十分～三時

○展示 三月十二・十三日

単発講座を開催

働く婦人の家

二月十九日(土)午後二時～四時

『幼児期の子どもをめぐって』

めぐみ幼稚園、奥水正人さん

三月五日(土) 午後二時～四時

『学童期の子どもをめぐって』

阿久根小 田尾利信さん

三月二十六日も開催します。

問い合わせ 働く婦人の家へ

○健康料理は休みました。

短歌

さりげなく振舞ひながらこたはり
をかみしめてをり酔ひの後

橋崎 幸

内海に虹たつ見ゆる路に出て暫く
行くと時雨降り来る

築瀬 紀夫

やうやくに歩みはじめし孫の来て
賑やかに過ぐこの大籠日

川畑 ムツ

ただひと目泊りしのみにて東京に
帰る路が子の正月終る

河南 節子

阿久根短歌会

見はるかす広畑となり湖の泥の香
たもつ大瀧村は

勝目 悦子



折田 憲司 選

あくねのみんな ⑬



天狗の足跡

「この八幡が丘は、われら地神の支配地だが、大島へ一飛びで渡れたらこの森を差し上げよう」と付け加えたのでした。

天狗は、地神たちの計略にかかって、

「それは易いご用だ。今に一飛びで大島に渡ってご覧に入れ、この森をわがものにしてくれる」と、森の頂上にある大岩の上に立ち、「やつー」

と鋭いかけ声をかけ、遙か西の大島目がけて跳んだのでした。



ところが、天狗の跳ぶ術では大島は遠過ぎました。天狗は、大股を広げたまんまさんふと海に落ち、そのまま海のもくずと消えてしまったのでした。

そうして、八幡が丘の森の大岩は、天狗の足跡の部分が強力で粉々に砕け、深さ数センチの足跡が残ったのでした。

村の人たちは、悪さをする天狗がいなくなり、平和に暮らしたという事です。

この「天狗の足跡」は、今も彼留の八幡神社前の大岩に残っています。

市民のひろば



このページは、皆さんの参加によるひろばです。
皆さんの回りで起きたニュース、話題など、なんでも結構です。広報係へお寄せください。☎③1211内214

大漁と豊作を祈り

大声で「麦ほめ」

倉津区



つえにしがみつき大声で麦ほめ

小正月の行事「麦ほめ」が、一月十四日の夜倉津地区で行われ、子どもたちの元気な「はやし」が区内を駆け回り、大漁と豊作を祈りました。

昔、麦の豊作を願って各地で行われていたこの行事も、いまでは倉津地区だけが伝統を守り続けています。夕方、地区の広場に「T」字型のツエを持った子どもたちが集まり、二班に分かれて家々を回り、まず、家の玄関で、リリー

ターが「祝いもんそかい」と大声ではやす。家の人が「祝ってくれ」と返事すると、「ここん麦は良か麦、上から見てもゆらゆら、下から見てもゆらゆら……」と、つえを力いっぱい握り締めてはやす。

このあと家が、タイ釣りであれば「釣りさえすれば金セング、セング」と、運転手であれば「良か運転手……」と家の仕事を大声でほめてあげる。こうして、子どもたちは雨の降るのも忘れて、一軒一軒はやして回りました。

元旦に初泳ぎ

浜海岸で50人参加

水泳協会恒例の泳ぎ初めが一日、浜海岸で行われ、会員や一般の参加を含め五十人が参加しました。



冷たいなア泳ぎ初め

おだやかな天候に恵まれましたが、水は冷たく参加者はブルブル。それでも十分間ほど元気よく水しぶきをあげたあとたき火とせんざいで暖をとって、一年の無事と心身の鍛錬を行いました。

「鬼火」に歓声

モチを焼いて無病息災



一年間病気をせず、健康で暮らせるよう「こー」。一月七日市内各地

区で子ども育成会が中心になって鬼火たきの行事が行われました。写真は黒之上区の鬼火たきの様子です。田んぼの中に高さ七、八の大きなヤグラが組まれ、夕方火がつけられると鬼火は勢いよく燃え上がり、時々「バーン、バーン」と竹がはじけると、子どもたちはびっくりしながら大喜び、おきができるモチを焼いて食べ、無病息災を祈っていました。

大川小(剣道) 折多小(サッカー) が優勝

スポーツ少年大会

市内のスポーツ少年団大会は、一月九日、剣道が市民体育館で、サッカーが総合グラウンドで行われました。

剣道には二十六人が参加。熱戦の末、小学校の部では大川小スポーツ少年団、中学校でも大川中Aが優勝しました。また、サッカーでは阿久根小スポーツ少年団と折多小が優勝しました。

成績は次のとおりです(剣道)
小学校の部 優勝大川小、二位阿久根小、三位準人小、ちむさ
中学生の部 優勝大川中A、二位大川中B、三位準人中

ハイ！元気だよ！



中村 涼 ちゃん(1歳1ヶ月)
市内大丸町 中村秀人さんの長男

大漁と魚の安全を願うエビス祭り
りが、一月十日市内の漁村で行わ
れました。

このなかで、西目大川島のエビ
ス祭りは公民館に地区民多数が出
席し、エビスさんを前に、酒盛り
で大漁を祈願、にぎわいました。
昨年十二月、港の入口にある工

酒盛りで歓迎

「化しよ」にエビスも満足



エビス様を前に酒盛り

ピス神社から馬見新英雄さん宅で
年を越したエビスさんは、この日
朝、地区民によってきれいに化粧
直しされて公民館の祭壇に安置さ
れ、タイヤもちも一緒に供えて、
地区民から盛大に酒盛りの歓迎を

受けました。
ほどよく酒も回り、たっぷり飲
迎されたエビスさんは午後六時、
地区民にかつがれ、元の神社に
安置されました。

じいちゃんたちも勉強

自転車の乗り方

事故防止に講習

脇本老連



交差点での渡り方を学ぶお年寄り

お年寄りの自転車事
故をなくしよう、と、
脇本地区のお年寄りた
ちが一月二十五日、地
区公民館の広場で自転
車乗りの講習会を開き
事故防止を誓いました。

三十五人のお年寄り
が愛用の自転車を持参
し、同久根警察署の交通課
と脇本派出所の西巡查
部長が指導にあたり、
まず、空気圧、ブレー
キなどの点検。不良の
自転車は地区の自転車
屋さん三人が無料で修
理してあげました。こ
のあとは広場に交差点
をつくり一人ひとり自
分の自転車で渡る練習
をしました。

青年海外協力隊員に
西田さん(高之口)
バンクラディシユで電気の指導



鹿児島県の第三次青年海外協力
隊員として西目高之口の西田健郎
さんが選ばれ、一月十六日バ
ンクラディシユへ向けて出発しま
した。西田さんは地元の高校を卒
業後、東京の電気関係の大学を出
て、鹿児島県の電気会社で働いてい
ました。

現地では職業訓練校の先生とし
て電気全般について指導に当たる
もので、任期は二カ年間。「物資
不足で、開発途上国のバンクラデ
ィシユで貧しい人々のために、同
久根人としての誇りを持ち、元気
いっぱい電気指導に頑張ります」と
と元気に出発しました。

毎月第二水曜日は
交通事故相談日

市民相談室

114万円の善意

歳末たすけあい運動募金

「みんなそろって明るいお正月を」のスローガンをかけて実施しました。昭和57年歳末たすけあい運動は、市民皆さんのご理解と、区長、民生委員、婦人会員、特志家のご協力により別表のような多額の寄付金が寄せられました。

寄付金は一人暮らしのお年寄りや、寝たきりの方17人の遺児など417人の方々にお金や衣類を贈り喜ばれました。

皆さんの心温まる善意に感謝申し上げます。

昭和57年 歳末たすけあい運動結果

収入(募金)

区分	金額	備考
一般寄付	430,850円	区長協力分募金及民生委員寄付
特志寄付	714,978	及び特志家寄付
前年度繰越金	18,770	
計	1,164,598	

支出(配分)

区分	金額	備考
ねたきり老人介護者	308,000円	154人
一般生活困窮者	570,000	190人
遺児	51,000	17人
父子世帯	106,000	34人
在宅重障児	20,000	5人
車椅子の生活者	40,000	10人
長期療養者	14,000	7人
事務費	25,648	
計	1,134,648	

残金は次年度へ繰越

- 精進者相談員
池上博義 (大丸)
楠田敦美 (大川)
松崎幸雄 (協本)

身体障害者相談員は、皆さんの地域で障害者の中心となって活動する一方、更生援護や各種の相談に応じて必要な指導を行うことになっていきます。気軽に遠慮なくご相談ください。

身障者相談員
末吉行雄 (山下)
新戸善左衛門(西目)
海平三蔵 (赤瀬川)
山田初義 (協本)
大野澄義 (協本)
また、精神の発達、機能に障害のある方の相談については次の方々が相談員として委嘱されています。

福岡県大牟田市にお住いの大團 恭一さん、宗像市の石沢博治さんより広報送付のお礼にと御寄付をいただきました。ありがとうございます。

タバコは市内のお店で買います

昭和五十八年二月十日 鹿児島県阿久根市役所編集発行

行事催し物など
としとしお寄せ下さい
③1211内214



市営住宅の 入居者を募集

申し込みは28日まで

市では、春畑団地、牛之浜団地に建設中の市営住宅と、市内にある市営住宅で、これから空家になる住宅の入居者を募集します。

申し込みは今年二月二十八日までとなり、入居を希望

計量器の定期検査を 2月16日から23日まで

毎年行われている計量器の定期検査が、今年も二月十六日から二十三日まで次の日程で行われます。

される方は、市役所都市計画課建築係に問い合わせのうえ申し込んでください。

心身の悩みは お近くの相談員へ

身体障害者相談員は、皆さんの地域で障害者の中心となって活動する一方、更生援護や各種の相談に応じて必要な指導を行うことになっていきます。気軽に遠慮なくご相談ください。

- 受検通知書をもらった方は必ず検査されるようお願いいたします。
- なお、今回の検査を受けないと、県の計量検定所に行って受けなければなりませんので当日はぜひ受けてください。
- 二月十六日 10時～14時 旧大川出張所 14時30分～15時30分 農協牛之浜支所
- 二月十七日 10時～11時30分 高之口公民館 13時～15時三笠町農協
- 二月十八日 10時～14時三笠町農協集荷所
- 二月二十一日から二十三日まで10時～15時(二十三日は14時まで) 市民体育館
- 無料の調停相談を開催
二十五日市民会館
- ▽期日 二月二十五日
- ▽時間 午前10時から午後三時
- ▽場所 市民会館

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。

ありがとうございます。(敬称略)
鶴岡貞義(尻無上) 若松正(尻無下) 新蔵キセ(新町) 鶴岡便(尻無上) 永井野ユキエ(尾崎) 若松幸市(尻無中) 植元康郎(上野) 筆瀬物代(下村)

○広報送付お礼
福岡県大牟田市にお住いの大團 恭一さん、宗像市の石沢博治さんより広報送付のお礼にと御寄付をいただきました。ありがとうございます。

給油所の 日曜当番店

- 三月六日 阿久根石油(協本)
- 十三日 暮合石油(協本)
- 二十日 阿久根市農協(設原)
- 二十七日 折口石油(阿久根)
- 富西石油(西目)

▽相談内容 土地、家賃、金銭、交通事故、離婚など。なお相談は無料です。
▽主催 出水調停協会

保健だより

No. 15

昭和58年2月1日発行

阿久根市保健センター
☎ 3-3768

「健康な老人づくり」を目指す

新しい老人保健制度

この制度は、国民が「すこやかな老後」を送ることができるように、老後における健康の保持と適切な医療を確保するため、病気の予防から治療、機能訓練までを総合的に行い必要な費用は国民全体で公平に負担し、「誰もがすこやかな老後を過ごすことができるように」と、制定されたものです。

「新しい老人保健制度は

二本の柱からなっています」

その一つは「医療給付」でもう一つは「保健事業」です。

一、医療給付

七〇歳以上（六五歳以上の寝た



きり老人を含む。)の人を対象に、医療給付が行われます。

医療費の一部を負担

これまで原則として無料だった七〇歳以上の医療に患者一部負担が導入されました。

これは「老人の方に健康に対する自覚を持っていただき、適正な受診をお願いする」という考えから、法律に盛り込まれたものです。

具体的には

外来の場合 一ヶ月ごとに四〇〇円

入院の場合

二ヶ月(被保険者は五〇日)を限度に一日三〇〇円を病院又は医院等の窓口で支払うこととなります。

二、保健事業

四〇歳以上の人を対象に、健康教育、健康診断などの保健サービスによって「健康な老人づくり」が行われます。

これは、本格的な高齢化社会を

むかすために、できるだけ健康な老人をふやそうという目的ではじめられたものです。

保健サービスの内容は

▼健康手帳を交付して、健康診断その他の必要な事項を記入し、医療と日常の健康管理に役立たせる。

▼寝たきり老人などに対して、保健婦などによる訪問指導を行う。

▼調理器とガンを中心にする一回健康診断を行う。

▼健康について、個別にいろいろな健康相談に応じる。

▼などの保健事業が行われます。



日曜在宅医のお知らせ

日曜日地区	3月6日(日)	3月13日(日)	3月20日(日)	3月21日(日)	3月27日(日)	4月3日(日)	4月10日(日)	4月17日(日)	4月24日(日)	4月29日(日)
阿久根	阿久根内科医院 2-0578	上園医院 3-1055	堀産婦人科 2-0263	大塚眼科 2-0306	簡井耳鼻咽喉科 2-0040	阿久根内科医院 2-0578	上園医院 3-1055	堀産婦人科 2-0263	大塚眼科 2-0306	簡井耳鼻咽喉科 2-0040
阿久根	北国医院 2-0016	喜多医院 2-0038	林胃腸科 3-3639	内山病院 3-1551	荒毛病院 2-0420	田中外科医院 3-0553	北国医院 2-0016	喜多医院 2-0038	内山病院 3-1551	林胃腸科 3-3639
編本	平医院 5-2626	石原医院 5-0045	浜之上医院 5-2600	黒木外科医院 5-0200	平医院 5-2626	石原医院 5-0045	浜之上医院 5-2600	黒木外科医院 5-0200	平医院 5-2626	石原医院 5-0045

※午前9時から午後5時まで ただし急患のみ

出水保健所からこんにちは 移動保健所について

保健所では、離島や山間へき地等医療施設に恵まれない地域に向き、住民の健康の保持増進を図ることを目的として移動保健所を行っています。

妊産婦、乳幼児、一般の人を対象に尿検査、検便、血液型、貧血検査や血圧測定を行い、診察の結果必要に応じて心電図の検査、栄養・保健相談を行っています。また衛生教育、食品・環境衛生相談も行っています。

この計画にあたっては市の衛生課の協力を得て実施しています。昭和五十七年度は既に四ヶ所で実施し、九十名の受診者がありました。血圧の高い人が四十五%、貧血のある人が三十%で、受診者の半数が六十歳以上の方でした。かねてから健康だと自分で感じていても若いときから、積極的に健

健康
それは
“自分で守る”
もの!!

健診計画

実施日	受付時間	場所	内容	対象
3月1日(火)	9:30~11:00	保健センター	血圧測定	希望者
3月8日(火)	13:00~13:30	"	1歳6ヶ月児健診	56.6.15~56.8.14
3月9日(水)	13:00~13:30	"	妊婦健診	58.9~58.10 出産予定者
3月10日(木)	10:00~11:00	大川地区公民館	血圧測定	希望者
3月11日(金)	10:00~11:00	協本地区公民館	血圧測定	希望者
3月15日(火)	13:00~15:00	保健センター	歯科相談	歯科健診終了者
3月16日(水)	13:00~13:30	"	3ヶ月児健診	57.11.15~57.12.14
3月17日(木)	9:30~11:00	"	育児相談	希望者
3月18日(金)	9:00~9:30	"	40歳健診	17.11.1~17.12.31
4月5日(火)	9:30~11:00	"	血圧測定	希望者
4月8日(金)	10:00~11:00	協本地区公民館	血圧測定	希望者
4月13日(水)	13:00~13:30	保健センター	妊婦健診	58年7月及び10月出産予定者
4月14日(木)	10:00~11:00	大川地区公民館	血圧測定	希望者
4月19日(火)	13:00~15:00	保健センター	歯科相談	歯科健診終了者
4月20日(水)	13:00~13:30	"	3ヶ月児健診	57.12.15~58.1.14
4月21日(木)	9:30~11:00	"	育児相談	希望者

※都合により日程等を変更する場合があります。

食事がすんだら
歯をみがこう
元気なよい子は
歯がじょうぶ。
ごはんのあとに一日3回
クルリ、クルリ、
ブク、ブク。

(出水郡歯科医師会)

診を受け、病気の有無を確認し、運動、食事、生活環境等を見直し、体力・健康づくりに努めましょう。



性病

性病のなかにはモジラミのように自分で診断がつくものもありますが、逆に、ある種の尿道炎のように医者でも診断のむずかしいものもあります。また、放置しても大過ない経過をとるものから、大変な結果をもたらすものまでさまざまです。いずれにせよ伝染病ですから、他人への迷惑を考へて、早めに医師にかかってくたさい。

専門医はもちろん、泌尿科、皮膚科、婦人科などでも診てくれます。

医師のいうことをよく聞いて指示に従うことが治療への近道です。「症状がなくなったらもう大丈夫だ」などと自己診断して診察を中断すると病気が再燃することも多く、そういう場合は完全になおるまでの期間も長くかかる傾向が強いです。

性病には免疫がでにくいので「一度かかったらもう二度と感染しないだろう」と考えることは危険です。

『不潔な交渉を避ける』ことが一番の予防法といえます。また、夫婦の場合、どちらかが病気になる自分だけおしても、相手が感染していたら再感染をくり返すだけですので、必ず夫婦そろって診察を受けるようにしましょう。

(出水郡医師会)

「献血」

◎期日 三月二十五日(金曜日)
◎実施場所及び時間
市役所玄関前

午前九時三十分から十二時まで
三笠町農業協同組合
午後一時三十分から二時三十分まで